

- 問1 平安時代、藤原氏は長年にわたって政治の実権を握りましたが、彼らが権力を維持するために用いた最も主要な政治的手法として正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、天皇の母方の親戚(外戚)として政治を行う手法 | 2. 地方の武士団と結びついて軍事力を背景に天皇を圧迫し、武力によって幕府を開くことで政治を主導する手法 | 3. 大陸の進んだ律令制度を導入し、天皇を中心とした公地公民の原則を徹底させることで官僚機構を支配する手法 | 4. 仏教の教えを政治の柱とし、全国に国分寺を建立することで民衆の支持を集め、宗教的な権威によって統治する手法 |
|--|--|---|---|
- 
- 問2 平清盛は、中国の宋との貿易(日宋貿易)を本格化させるため、現在の神戸市付近にあたる瀬戸内海の要所に港を整備しました。この港の名称を答えなさい。 (2014年 沖縄公立入試 類似)
- |         |      |       |       |
|---------|------|-------|-------|
| 1. 大輪田泊 | 2. 堺 | 3. 博多 | 4. 坊津 |
|---------|------|-------|-------|
- 
- 問3 奈良時代末期、仏教勢力が政治に深く関与するようになった状況を打破し、天皇中心の政治を立て直す目的で行われた政治改革に関連する記述です。七百九十四年に都を山背国の平安京へと移し、新しい政治の刷新を図った天皇として正しいものを選びなさい。 (2023年 大阪公立入試 類似)
- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 
- 問4 山口県の壇ノ浦の戦いで滅亡した平氏が、その全盛期に中国の王朝と行っていた貿易(日宋貿易)の内容について正しく述べたものはどれか、次から選びなさい。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 倭寇による略奪を防ぐため、勘合(かんごう)と呼ばれる札を用いた貿易を行った。 | 2. 日本からは金や木材などを輸出し、宋からは陶磁器や大量の銅銭などを輸入した。 | 3. 朝廷の許可を得ずに、キリスト教の布教を認める代わりに鉄砲を輸入する貿易を行った。 | 4. 元(モンゴル)からの朝貢の要求を拒否し、民間人による非公式な取引のみを継続した。 |
|---|--|---|---|
- 
- 問5 894年に、唐の国力が衰退していることや往復の航海が危険であることを理由に、遣唐使の派遣を停止するよう天皇に建議した人物は誰ですか。 (2023年 埼玉公立入試 類似)
- |         |          |       |         |
|---------|----------|-------|---------|
| 1. 菅原道真 | 2. 阿倍仲麻呂 | 3. 鑑真 | 4. 聖徳太子 |
|---------|----------|-------|---------|
- 
- 問6 菅原道真が遣唐使の停止を建議したことによって、その後の平安貴族の生活や文化にどのような影響を与えましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。 | 2. 中国の律令制度をそのまま導入することで、天皇を中心とする中央集権的な政治体制が完成した。 | 3. 唐の先進的な土木技術を導入したことにより、全国で大規模な開墾が進み、班田収授の法が厳格に運用された。 | 4. 日本独自の文字である「かな文字」の使用が禁止され、すべての公文書を漢文で記す習慣が定着した。 |
|---|---|---|---|
- 
- 問7 平安時代初期、僧の最澄は唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を広めました。彼が修行の拠点として比叡山に建立し、後に多くの高僧を輩出することになった寺院の名称と、その宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜公立入試 類似)
- |            |             |            |            |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 天台宗・延暦寺 | 2. 真言宗・金剛峯寺 | 3. 浄土宗・知恩院 | 4. 時宗・清浄光寺 |
|------------|-------------|------------|------------|
- 
- 問8 12世紀の東北地方において、奥州藤原氏が中尊寺金色堂に代表されるような壮麗な仏教文化を築くことができた背景として、最も適切な説明はどれか。 (2022年 愛知公立入試 類似)
- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 東北地方で産出された豊富な金(きん)や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。 | 2. 日宋貿易の拠点として港湾を整備し、宋から輸入した大量の貨幣と高級な陶磁器を独占的に流通させていたから。 | 3. 平氏との親密な関係を通じて、都の最新の建築技術と、瀬戸内海の制海権を背景とした物流網を掌握していたから。 | 4. 鎌倉幕府から地頭として任命され、東北全域の徴税権を公式に認められたことで、安定的な財源を確保できたから。 |
|--|--|---|---|
- 
- 問9 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 藤原道長 | 2. 藤原頼通 | 3. 藤原鎌足 | 4. 藤原良房 |
|---------|---------|---------|---------|
- 
- 問10 平安時代の中期、894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことをきっかけに、これまでの大陸文化を日本の風土や好みに合わせて消化した貴族中心の文化が発達しました。この文化において、日本人の感情を表現するために漢字を簡略化したり、その一部をとったりして作られた文字を何といいますか。 (2017年 大阪公立入試 類似)
- |         |         |       |         |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. かな文字 | 2. ハングル | 3. 梵字 | 4. 楔形文字 |
|---------|---------|-------|---------|
- 
- 問11 11世紀後半、藤原氏による摂関政治を抑えるため、天皇が位を譲って退位したあとも「上皇」として実権を握り、自ら政治を行う仕組みが始まりました。この政治体制の名称と、これを最初に始めた人物の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 鳥根公立入試 類似)
- |                     |                      |                       |                     |
|---------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. 「院政」を行い始めた「白河上皇」 | 2. 「院政」を行い始めた「後醍醐天皇」 | 3. 「摂関政治」を確立させた「藤原道長」 | 4. 「新政」を執り行った「白河上皇」 |
|---------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|
- 
- 問12 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。 (2022年 愛知公立入試 類似)
- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。 | 2. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。 | 3. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が開花した。 | 4. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。 |
|--|---|---|--|
- 
- 問13 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 鳥根公立入試 類似)
- |                            |                                 |                             |                                |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い | 2. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い | 3. 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱 | 4. 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立 |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、天皇の母方の親戚（外戚）として政治を行う手法	藤原氏は、自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、生まれた皇子を次の天皇に即位させることで、天皇の「外祖父（母方の祖父）」という立場を築きました。この血縁関係を基盤に、天皇が幼少のときには摂政、成人してからは関白という役職に就いて政治を独占しました。これを摂関政治と呼びます。
問2	答え 1 大輪田泊	平清盛は、日宋貿易による経済力の確保を重視しました。大型の貿易船が安全に入港できるように、現在の神戸市兵庫区付近にあった大輪田泊を大規模に修築・整備しました。この港はのちに「兵庫の津」と呼ばれ、現在の神戸港の源流となりました。当時の地図情報においても、瀬戸内海の東端に近い、現在の兵庫県神戸市周辺に位置する重要な海上交通の拠点です。
問3	答え 1 桓武天皇	平城京では有力寺院の勢力が強まり、政治に大きな影響を及ぼすようになっていました。この影響を断ち切り、律令政治の再建（政治改革）を目指して、七百九十四年に平安京への遷都が実行されました。これにより約400年にわたる平安時代が幕を開けることとなります。
問4	答え 2 日本からは金や木材などを輸出し、宋からは陶磁器や大量の銅銭などを輸入した。	日宋貿易において、日本からは金、銀、木材、刀剣などが輸出され、宋からは絹織物、陶磁器、そして当時の日本に大きな影響を与えた宋銭（銅銭）などが輸入されました。勘合貿易は室町時代の足利義満によるもの、鉄砲の伝来は戦国時代、元との関係は鎌倉時代中期以降の出来事です。
問5	答え 1 菅原道真	平安時代の公卿である菅原道真は、894年に宇多天皇に対して遣唐使の停止を建議しました。当時の唐は国内の乱れによって国力が衰えており、命がけで渡航してもそれに見合う文化的な成果を得ることが難しいと判断されたためです。これ以降、遣唐使は派遣されることなく廃止されました。
問6	答え 1 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。	遣唐使の停止により、大陸からの直接的な文化の流入が制限されました。これにより、それまでに取り入れた唐風の文化を、日本の気候や日本人の感性に合うように作り変える動きが強まりました。その結果、かな文字の使用や、寝殿造、大和絵、和歌の隆盛といった「国風文化」が花開くことになりました。
問7	答え 1 天台宗・延暦寺	最澄は平安京の北東に位置する比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めました。比叡山は「日本仏教の母」とも呼ばれ、鎌倉時代に新しい宗派を開いた法然や親鸞などもここで修行したことで知られています。同時期に空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いたのは真言宗です。
問8	答え 1 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。	奥州藤原氏の繁栄の土台となったのは、東北地方で採掘された金と、名馬の産地としての利点です。これらを京都へ送ることで、当時の都の最新文化や高度な技術を平泉へ取り入れることが可能になりました。金色堂の装飾に使われている螺鈿（らでん）の材料である夜光貝が南方の海から運ばれていることも、広範な交易網を裏付けています。
問9	答え 1 藤原道長	自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になると、外祖父として政治の実権を握った。提示された歌は、自身の権力が満月（望月）のように欠けるところがないと誇ったものである。息子の頼通も長く権力を維持し、宇治に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる。
問10	答え 1 かな文字	遣唐使の廃止によって大陸との直接的な交流が途絶えたことで、それまでの唐風の文化から、日本の自然や日本人の感性を重視する「国風文化」へと変化しました。この時期に「かな文字」が考案されたことで、『源氏物語』や『枕草子』などの物語や随筆、和歌が数多く生み出され、国文学が大きく発展しました。
問11	答え 1 「院政」を行い始めた「白河上皇」	摂関政治によって強まった藤原氏の影響力を退け、実権を皇室に取り戻すために始まったのが院政です。1086年に白河天皇が位を譲って白河上皇となり、天皇の住まい（内裏）とは別の「院」と呼ばれる場所で政治を主導しました。後醍醐天皇は鎌倉時代末期に天皇親政を目指して建武の新政を行った人物であり、時代や政治形態が異なります。
問12	答え 1 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時代に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などにも有名です。2011年には「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として、世界文化遺産に登録されました。
問13	答え 1 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い	平安時代末期、鳥羽法皇の死後、崇徳上皇と後白河天皇の間で「院政」の実権をめぐる対立が激化しました。この皇位継承や朝廷の主導権をめぐる争いに、藤原氏内部の対立や源氏・平氏などの武士が巻き込まれる形で武力衝突に至ったのが保元の乱です。選択肢にある「將軍の跡継ぎ問題」は室町時代の応仁の乱などの特徴であり、この時期の状況とは異なります。